

遊遊館便り

NO.299

4

今月のトピックス

1. 理事長より新年度の挨拶
2. 活動報告:42期の閉講式、スキー旅行、桜まつりのお手伝い、44期生始動
3. 元寮生・訓練生は今・・・
4. 寮生・訓練生の状況/今月の1枚

2024年4月20日発行 発行者:遊遊館便り編集部
住所 〒197-0011 東京都福生市福生2351-1
電話 042-553-2575



新年度のご挨拶

珍しく桜満開の新年度スタートとなりました。4月に入社した常勤の新入社員は5名。支援未経験可の事業所もあるのですが、全員、対人援助職からの転職組。ぜひ、これまでの経験や知識を生かし、活躍いただきたいと思います。

集中訓練プログラム4月生に向けては、今年に入ってから断続的に問合せや見学があり、8名くらいを想定し部屋の準備をしていましたが、結果は10~30代の男性5名でのスタートとなりました。最初こそ緊張の面持ちでしたが、日々のプログラムに参加したり、一緒にゲームをしたりする中で、少しずつ打ち解けていっています。何人かで夜の散歩や休日立川に出かけたり、寮生が訓練生の歓迎会を開こうと計画していたり、互いに緊張感や苦手意識はありつつも、人との繋がりを丁寧に紡ごうとしているように感じます。気持ちの伝え方や受け止め方で少々ギクシャクする場面もありますが、スタッフに相談したり、共感し合える仲間ができたり、自分の気持ちと向き合ったり。それこそがココにきた意味であり、就労や社会参加のための準備といえます。

また、板橋支所で実施している学習と居場所を利用している中学生・高校生5名が体験合宿のため3泊4日でセンターにやってきました、学校が合わない、勉強が得意じゃない子どもたちも、本格的な陶芸や山での林業体験、動物園での搾乳体験の中で、初めて触れるろくろやチェーンソー等に興味深々。五感を刺激された子ども達の変化は、たった3日間でしたが、引率したスタッフや彼らの親御さんも実感できたようです。

これからも様々な体験を通して、若者の成長を見守っていききたいと思います。(理事長 河野)

3月末、42期生の閉講式を行いました。

6か月間の思いと新しい仕事と暮らしがスタートする期待と不安を胸に退所しました。

訓練を通して人をサポートする仕事に就きたい、と障害者支援施設に採用となったK君。仲良くなった寮生が引越しの手伝いを申し出てくれました。新しい環境でもムリをせずがんばってほしいと思います。

